

## NO36

### 外国人墓地を訪ねて

所在地は熊野市紀和町板屋（三交バス「所山」下車すぐ）



熊野市紀和町板屋を通る国道311号線沿いに、「史跡・外人墓地」という小さな看板が立っている。

当地の紀州鉾山に捕虜として連れてこられ、この地で亡くなったイギリス人兵士16人の墓碑などが、こじんまりと、しかしきれいに整備されている。

おそらく屈強な若者が多かったはずの捕虜300人のうち16人が、終戦までのわずか1年2カ月ほどの間に亡くなったという事実が、戦争捕虜の境遇や、戦時下の鉾山労働の苛酷さをわたしたちに教えてくれる。

平和な現代ではとても考えられない死亡率であり、都市部から遠く離れたへき地にさえ残っている戦争の痛々しい記憶である。

戦後かなり経って、捕虜の生存者たち（通称「イルカボーイズ」）を日本に招き交流を深めたということがあり、そのときにこの墓地が注目され整備もすすめられた。

20060925 掲載